

総合①

パーソナル化サプリで業界に革命

事業戦略

Interview



今年7月に創業20周年を迎えたシクロケム(神戸市中央区)。主力素材はシクロデキストリン(包接体)と、他の水溶性食物繊維には無い機能を持つ「スーパー食物繊維」のαシクロデキストリン(αオリゴ糖)。

加えて、2008年から販売を始めたマヌカハニーの販売にも注力している。最近では、サプリメント業界に革命を起こすことを目指し「パーソナル化サプリメント」の取り扱いは始めた。新たな取り組みで健康食品業界に新風を吹き込むシクロケムの寺尾啓二社長に今後の事業戦略を聞いた。

シクロケム 寺尾啓二 代表取締役社長

「柱に据えている事業戦略は2つあります。一つは個人個人の体調や体作りなどの目的に合わせた『パーソナル化サプリメント』のシェア拡大で、もう一つはマヌカハニーの市場拡大に寄与することです。まず、パーソナル化サプリについて説明をするので、昨年7月に開発して販売

を始めた独自の最終商品で、αオリゴ糖、プロテイン、酪酸菌、キウイフルーツパウダーをベース素材に、トッピング素材としてグルクミン、CoQ10、NMNなどの機能性成分を目的に応じて自由に組み合わせられるサプリメントです。開発の手掛かりは、これまでに研究開発してきたシクロデキストリン包接体が全て粉末であったことで、例えば、吸収性に課題がある脂溶性成分のグルクミンやCoQ10をαオリゴ糖で包接し、

生体吸収性向上に成功しましたが、それらの包接体は粉末です。また、胃酸分解や酸化分解しやすく不安定なR-αリポ酸やD-トコトリエールも、αオリゴ糖包接による安定化で生体吸収性向上に成功しましたがともに粉末です。このように、20年にかけてシクロデキストリンが機能性成分の様々な問題を解決できることを明らかとてきました。数年間、これらの包接体は全て粉末であり、同様に粉末であるプロテインとの組合せが可能になることに気づきました。そして、これまでの研究成果を身の周りの人の健康維持に役立てる目的で考えた時、パーソナル化サプリに辿り着きました。



シクロケムの本社ビルに設けられたトレーニングルーム。「ミロン」では有酸素運動や無酸素運動のほか、短縮性筋活動と伸張性筋活動が行える。トレーニングの効率化を求める方には「パーソナル化サプリ」を推奨

「今、高齢者に関わることで大きな社会問題になっているのは介護です。虚弱であるフレイルになってしまつと、その後は寝たきりに進行し、介護する側もされる側も困難を極めているのは周知の通りです。この高齢者の健康や生活の質を維持するために、特に必要と考えられているのは筋肉を付けることです。これにより、フレイルだけでなく、サルコペニアやロコモティブシンドロームも予防できると考えられています。いかに

効率良く筋肉を付けられるか検討した結果、プロテインは必須の成分として取り入れました。プロテインは、ホエイとソイの組み合わせを推奨しています。ホエイは吸収が比較的早く筋肉になりやすい一方、ソイは筋肉の分解を抑えるグリシニンを含み筋肉を維持できます。攻めと守りの2つのプロテインを併用することで、効率良く筋肉が付けられます。このプロテインにαオリゴ糖、酪酸菌、キウイフルーツパウダーを配合しました。理由は、酪酸菌がαオリゴ糖を資化して酪酸と水素を産生することで、腸内環境改善や、運動時に発生する活性酸素を除去する働きが期待できます。キウイフルーツは、含有するタンパク質分解酵素がホエイ、ソイ両方のプロテインの分解と吸収

をしやすいするためです」

「パーソナル化サプリが粉末タイプであることにはどのような利点がありますか。」

「カプセル及び錠剤化することによるコスト上昇を抑え、コストメリットを付与できます。また、例えばカプセルやタブレットにした場合、薬と剤型が一緒になってしまい、1日にいくつものカプセルを摂取することになり飲み手が衰えた高齢者には負担が大きくなります。粉末タイプであれば1日にコップ1杯程度の量で摂取でき、ヨーグルトなどに混ぜても摂れるので続けやすいですね。そもそも粉末タイプにできたのも、これまで開発してきた機能性成分のシクロデキストリン包接体が全て粉末であったからです」

「利用者の体調はどのように調べますか。」

「個人個人の遺伝子を調べたり、アンケートを行ったりします。このほか、『美容』『疲労改善』などの目的を持つお客様

には、それに合わせてCoQ10包接体といったヒトケミカル、コラーゲンやNMN、カルノシン、GABAなどを、当社と取引のある企業から原材料を仕入れて組み入れることができま

「その通りです。当社は昨夏、本社にAI(人工知能)を搭載したドイツ製のトレーニングマシン『ミロン』を導入し、トレーニングルームで一般の方も利用できるようにしました。ミロンは個人個人の身長や体格をスキャンすると、ICカードに情報を取り込み、トレーニングで使うマシンの調整や負荷を自動的に設定してくれるものです。8種類のトレーニングメニューを1週17分30秒で行い、メニューに1日2周取り組めば充分で、効率良くトレーニングできます。このミロンを使ったパーソナル化トレーニングとパーソナル化サプリを組み合わせることで、筋力量アップ、理想のカラダづくりのほか、ロコモ対策など健康寿命や生活の質改善が期待できます。当社はミロンのメーカーであるミロン社と、日本総販売代理店のアライアンス社と提携しており、マシンを導入したジムにパーソナル化サプリを紹介しています。ミロン社は現在、世界戦略として中国や米国市場への進出を計画しています。当社もミロンとともにパーソナル化サプリを世界に進出させ、利便性やミロンとの相乗効果で世界のサプリメント業界に革命を起こしたいと考えて

「もう一つのマヌカハニーの市場拡大に向けた取り組みはどのようなものですか。」

「同じ蜂蜜産品であるプロポリスの市場規模は300億円と見られています。一方、マヌカハニーの市場規模は約20億円と見込まれていますが、マヌカハニーの健康効果を持つすれば、プロポリスと同等であってもおかしくないと思いますし、その規模に拡大させることを目指します。当社は08年にニュージーランドのマヌカヘルス社からアプローチを受けて、マヌカハニーの取り扱いを始めました。当初は百貨店で最終商品の販売に力を注ぎ、次第に認知度が高まり売上も伸び、当時は当社の独壇場でした。最近ではマヌカヘルス社に品質問題が起きた影響で、当社が現地法人・コサナニユージーランドを設立するともに自社工場を建設し、自社ブランドマヌカハニーの安定供給と品質管理体制を整えました。当社グループ会社のシクロケムバイオであれば、マヌカハニーの有効成分であり抗菌成分である『MGO(メチルグリオリキサル)』も分析できます。このため、当社グループ会社のコサナナからは、正しいMGO数値表記を行った商品が提供できるのです。また、成分分析ができる強みを生かし、国内でマヌカハニーの原材料販売も行う計画です。グループ会社の競合相手を作ってしまうかもしれないが、お互いが切磋琢磨してマヌカハニーの有用性を広め、市場拡大に努めていきたいと思

αオリゴ糖ベースに世界進出も視野

「パーソナル化サプリはトレーニングとの併用もできると聞きます。」

「その通りです。当社は昨夏、本社にAI(人工知能)を搭載したドイツ製のトレーニングマシン『ミロン』を導入し、トレーニングルームで一般の方も利用できるようにしました。ミロンは個人個人の身長や体格をスキャンすると、ICカードに情報を取り込み、トレーニングで使うマシンの調整や負荷を自動的に設定してくれるものです。8種類のトレーニングメニューを1週17分30秒で行い、メニューに1日2周取り組めば充分で、効率良くトレーニングできます。このミロンを使ったパーソナル化トレーニングとパーソナル化サプリを組み合わせることで、筋力量アップ、理想のカラダづくりのほか、ロコモ対策など健康寿命や生活の質改善が期待できます。当社はミロンのメーカーであるミロン社と、日本総販売代理店のアライアンス社と提携しており、マシンを導入したジムにパーソナル化サプリを紹介しています。ミロン社は現在、世界戦略として中国や米国市場への進出を計画しています。当社もミロンとともにパーソナル化サプリを世界に進出させ、利便性やミロンとの相乗効果で世界のサプリメント業界に革命を起こしたいと考えて

「もう一つのマヌカハニーの市場拡大に向けた取り組みはどのようなものですか。」

「同じ蜂蜜産品であるプロポリスの市場規模は300億円と見られています。一方、マヌカハニーの市場規模は約20億円と見込まれていますが、マヌカハニーの健康効果を持つすれば、プロポリスと同等であってもおかしくないと思いますし、その規模に拡大させることを目指します。当社は08年にニュージーランドのマヌカヘルス社からアプローチを受けて、マヌカハニーの取り扱いを始めました。当初は百貨店で最終商品の販売に力を注ぎ、次第に認知度が高まり売上も伸び、当時は当社の独壇場でした。最近ではマヌカヘルス社に品質問題が起きた影響で、当社が現地法人・コサナニユージーランドを設立するともに自社工場を建設し、自社ブランドマヌカハニーの安定供給と品質管理体制を整えました。当社グループ会社のシクロケムバイオであれば、マヌカハニーの有効成分であり抗菌成分である『MGO(メチルグリオリキサル)』も分析できます。このため、当社グループ会社のコサナナからは、正しいMGO数値表記を行った商品が提供できるのです。また、成分分析ができる強みを生かし、国内でマヌカハニーの原材料販売も行う計画です。グループ会社の競合相手を作ってしまうかもしれないが、お互いが切磋琢磨してマヌカハニーの有用性を広め、市場拡大に努めていきたいと思